

|                        |  |
|------------------------|--|
| テーマ名                   | 気候変動と適応を考えよう～熱中症予防～  |
| 対 象                    | 小学生(5年生)～大人  |
| 最大人数                   | 34 名   |
| 所要時間                   | 60 分～90 分  |
| 学習のねらい                 | 地球温暖化による気候変動が暮らしに影響していることを学び、自分にもできる適応策、特に熱中症対策を学び、命や暮らしを守るために、気候変動に適応することが重要であることに気づく。  |
| 内 容<br>※実施時間に合わせて調整する。 | <p>気象観測データや動画等から、気候変動の状況、将来予測を学ぶ。<br/>実験により、命や暮らしへの影響を視覚的に認識する。<br/>気候変動への適応の重要性を理解し、自らできる対策（適応策）を考える。</p> <p>1 家族と考える気候の変化<br/>事前に記入し持参した気候に関する世代別家族アンケートを集計し、気候の変化を感じる。</p> <p>2 数字で見る気候変動<br/>気象観測や将来予測のデータで、気候変動状況や将来予測を学ぶ。</p> <p>3 サーモグラフィ・WBGT計を用いた実験<br/>日射の影響、効果的な発汗等について実験し、暑熱対策について考える。</p> <p>4 熱中症予防カードの作成<br/>熱中症予防を呼びかけるメッセージを考え、オリジナルカードを作成する。</p> |
| 出前講座の可否○×<br>(注意事項)    | ○（実験器具の設営・撤収のため、実施前後の時間が必要。）   |
| 必要な感染対策                | <p>受付時に検温と手指消毒を行う。<br/>原則マスクを着用する。<br/>実験前後、休憩前後に手指消毒を行う。</p>  |